

地質ニュース

昭和44年10月

第182号

1969

解説	資源探査衛星	松野久也	1
	沖縄の水資源	1. 沖縄本島	12
		小木野井 西野間上 泰次郎 義泰正 人二文	
トピックス	美唄北一の沢地区の地すべり	堀黒豹 本田 健和 次男武	34
	シラス地域の豪雨災害	木野義人	40
	地球化学の話④	倉沢 一	49
海外事情	13カ月太陽の国②	村下敏夫	58
	学会掲示板		39

編集 地質調査所

表紙の写真

1968年3月12日 アポロ9号による多波長帯域写真実験の過程で撮影されたカリフォルニアのインペリアルパレーの赤外カラー写真。この写真は アポロ9号の飛行中 4台の同時撮影カメラによって撮影された4枚1組 約130組のうちの1組(表紙写真および本文中第5図a~c)であって それぞれ色調および濃淡に差がある。

赤外カラーフィルムは赤外線帯域の光線を現像によって 赤色に発色させるものである。活力ある植物葉体は 赤外線領域の光線をよく反射するので これが写真上で赤色に記録され 他の地物との区別が容易になる。また このフィルムでは 空中の水分により散らされる青色部より短い波長域の光線が記録されないのので 他の波長域を記録する写真に比べて鮮明な像が得られるという利点がある。(松野久也)

発行 株式会社 実業公報社